

令和4年度 病院事業決算状況

都道府県名 長崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
長崎市	長崎みなとメディカルセンター	2
佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市 総合医療センター	3
佐世保市	地方独立行政法人 北松中央 病院	4
大村市	市立大村市民病院	5
平戸市	国民健康保険平戸市民病院	6
平戸市	平戸市立生月病院	7
雲仙・南島原保健組合（ 事業会計分）	公立小浜温泉病院	8
長崎県病院企業団	五島中央病院	9
長崎県病院企業団	富江病院	10
長崎県病院企業団	上五島病院	11
長崎県病院企業団	上対馬病院	12
長崎県病院企業団	精神医療センター	13
長崎県病院企業団	島原病院	14
長崎県病院企業団	壱岐病院	15
長崎県病院企業団	対馬病院	16

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎市		
病院名	長崎みなとメディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	409,118
決算規模(千円)	231,943,383
標準財政規模(千円)	100,144,822
財政力指数	0.58
経常収支比率(%)	97.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	28,931			
1 経常収益	28,931			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	28,931			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	28,931			
2 経常費用	28,931			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	28,931			
(うち支払利息)	28,931	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	243,223
決算規模(千円)	133,196,467
標準財政規模(千円)	60,047,675
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	93.0
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	29,913			
1 経常収益	29,913			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29,913			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29,913			
2 経常費用	29,913			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,913			
(うち支払利息)	29,913	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	佐世保市		
病院名	地方独立行政法人 北松中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	243,223
決算規模(千円)	133,196,467
標準財政規模(千円)	60,047,675
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	93.0
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,379			
1 経常収益	12,379			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,379			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,379			
2 経常費用	12,379			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,379			
(うち支払利息)	12,379	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	大村市				
病院名	市立大村市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,315 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	212	80.9	83.4	81.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	49.9	37.6
計	212	80.9	83.1	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	20.5	20.6

設立団体の状況		
人口(人)	95,397	
決算規模(千円)	61,940,725	
標準財政規模(千円)	21,540,057	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	476,623			
1 経常収益	476,623			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	476,623			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	44,307			
(うち長期前受金戻入)	431,502			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	547,010			
2 経常費用	547,010			
(1) 医業費用	502,853			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	497,603	-	8.7	9.7
経費	4,766	-	22.1	28.9
(うち委託料)	-	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	484			
(2) 医業外費用	44,157			
(うち支払利息)	44,157	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	87.1		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	79.0		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,236,503
1 固定資産	6,200,046
(1) 有形固定資産	5,800,046
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	400,000
2 流動資産	36,457
(1) 現金及び預金	36,266
(2) 未収金及び未収収益	191
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,626,653
1 固定負債	5,595,435
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,195,435
(2) その他の企業債	400,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	530,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	529,830
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,501,029
(1) 長期前受金	5,911,089
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,410,060
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,390,150
1 資本金	629,464
2 剰余金	-2,019,614
(1) 資本剰余金	241,274
(2) 利益剰余金	-2,260,888
負債・資本合計	6,236,503
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,390,150
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	24,560	44,307
資本勘定繰入	270,164	492,975
計	294,724	537,282

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	363,902
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	国民健康保険平戸市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,703 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	58	54.9	60.5	79.0
療養	29	80.8	83.7	84.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	63.5	68.2	80.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	14.8	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	25,991,965	
標準財政規模(千円)	13,205,256	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,650,057			
1 経常収益	1,640,270			
(1) 医業収益	1,231,916			
(うち修正医業収益)	1,171,863			
入院収益	576,964			
外来収益	395,660			
診療収入計	972,624			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	259,292			
(うち他会計負担金)	60,053			
(2) 医業外収益	408,354			
(うち国・都道府県補助金)	106,249			
(うち他会計補助・負担金)	227,841			
(うち長期前受金戻入)	63,254			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,787			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,593,834			
2 経常費用	1,593,083			
(1) 医業費用	1,516,750			
職員給与費	862,754	70.0	59.4	76.5
材料費	165,108	13.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	88,166	7.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,942	6.2	11.8	6.4
減価償却費	125,221	10.2	8.7	11.5
経費	322,599	26.2	22.1	32.6
(うち委託料)	178,721	14.5	11.7	14.8
研究研修費	2,564			
資産減耗費	38,504			
(2) 医業外費用	76,333			
(うち支払利息)	14,858	1.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	751			
経常損益	47,187			
純損益	56,223			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.0		103.3	101.5
医業収支比率	81.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	77.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	17.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	84.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,108,316
1 固定資産	2,517,970
(1) 有形固定資産	2,512,569
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	3,496
2 流動資産	1,590,346
(1) 現金及び預金	1,206,556
(2) 未収金及び未収収益	366,096
(3) 貸倒引当金()	2,509
(4) 貯蔵品	18,836
3 繰延資産	-
負債合計	2,311,082
1 固定負債	1,047,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	424,958
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	622,556
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	362,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,684
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,788
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	901,125
(1) 長期前受金	2,169,689
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,268,564
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,797,234
1 資本金	1,454,159
2 剰余金	343,075
(1) 資本剰余金	167,050
(2) 利益剰余金	176,025
負債・資本合計	4,108,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	274,277	287,894
資本勘定繰入	183,931	196,313
計	458,208	484,207

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	平戸市				
病院名	平戸市立生月病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,066 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	52	63.1	64.1	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	63.1	64.1	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		27.4	31.3	29.7

設立団体の状況		
人口(人)	29,365	
決算規模(千円)	25,991,965	
標準財政規模(千円)	13,205,256	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	746,282			
1 経常収益	746,275			
(1) 医業収益	507,266			
(うち修正医業収益)	467,968			
入院収益	265,402			
外来収益	161,099			
診療収入計	426,501			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,765			
(うち他会計負担金)	39,298			
(2) 医業外収益	239,009			
(うち国・都道府県補助金)	55,016			
(うち他会計補助・負担金)	151,828			
(うち長期前受金戻入)	27,344			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	698,113			
2 経常費用	697,118			
(1) 医業費用	677,055			
職員給与費	390,122	76.9	59.4	76.5
材料費	49,754	9.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	21,355	4.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,399	5.6	11.8	6.4
減価償却費	63,714	12.6	8.7	11.5
経費	172,154	33.9	22.1	32.6
(うち委託料)	79,273	15.6	11.7	14.8
研究研修費	615			
資産減耗費	696			
(2) 医業外費用	20,063			
(うち支払利息)	345	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	995			
損益	49,157			
純損益	48,169			
累積欠損金	113,112			
経常収支比率	107.1		103.3	101.5
医業収支比率	74.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	69.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	37.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	25.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	79.6		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,108,316
1 固定資産	2,517,970
(1) 有形固定資産	2,512,569
(2) 無形固定資産	1,905
(3) 投資その他の資産	3,496
2 流動資産	1,590,346
(1) 現金及び預金	1,206,556
(2) 未収金及び未収収益	366,096
(3) 貸倒引当金()	2,509
(4) 貯蔵品	18,836
3 繰延資産	-
負債合計	2,311,082
1 固定負債	1,047,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	424,958
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	622,556
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	362,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,684
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,788
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	901,125
(1) 長期前受金	2,169,689
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,268,564
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,797,234
1 資本金	1,454,159
2 剰余金	343,075
(1) 資本剰余金	167,050
(2) 利益剰余金	176,025
負債・資本合計	4,108,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	179,202	191,126
資本勘定繰入	19,404	25,234
計	198,606	216,360

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	雲仙・南島原保健組合(事業会計分)		
病院名	公立小浜温泉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,798 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	18	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	90	83.5	91.4	90.9
療養	60	87.2	90.5	93.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	85.0	91.0	92.0
平均在院日数(一般病床のみ)		22.1	20.9	20.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	438,173			
1 経常収益	438,173			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	438,173			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	344,581			
(うち長期前受金戻入)	92,476			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	438,187			
2 経常費用	438,187			
(1) 医業費用	425,956			
職員給与費	28,109	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	215,423	-	8.7	10.2
経費	182,424	-	22.1	28.8
(うち委託料)	2,400	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,231			
(うち支払利息)	11,107	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-14			
純損失	-14			
累積欠損金	127,237			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	78.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	78.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	21.4		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,794,179
1 固定資産	4,651,672
(1) 有形固定資産	4,651,580
(2) 無形固定資産	92
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,142,507
(1) 現金及び預金	970,644
(2) 未収金及び未収収益	171,863
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,288,219
1 固定負債	2,092,209
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,092,209
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	319,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	158,497
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,851
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	158,809
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,876,853
(1) 長期前受金	2,298,472
(2) 長期前受金収益化累計額()	421,619
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,505,960
1 資本金	399,681
2 剰余金	1,106,279
(1) 資本剰余金	1,233,516
(2) 利益剰余金	-127,237
負債・資本合計	5,794,179
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	47,326	344,581
資本勘定繰入	90,268	43,052
計	137,594	387,633

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	五島中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	20,410 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	249	59.2	62.9	60.7
療養	-	-	-	-
結核	10	0.9	0.6	3.0
精神	60	32.7	44.9	49.4
感染症	4	-	-	-
計	323	51.7	56.8	56.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.7	15.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,438,724			
1 経常収益	6,425,860			
(1) 医業収益	4,497,689			
(うち修正医業収益)	4,430,587			
入院収益	2,706,200			
外来収益	1,510,300			
診療収入計	4,216,500			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	281,189			
(うち他会計負担金)	67,102			
(2) 医業外収益	1,928,171			
(うち国・都道府県補助金)	767,087			
(うち他会計補助・負担金)	790,042			
(うち長期前受金戻入)	342,515			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,864			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,001,473			
2 経常費用	5,961,930			
(1) 医業費用	5,655,922			
職員給与費	2,823,895	62.8	59.4	59.0
材料費	1,126,659	25.0	26.1	25.6
(うち薬品費)	539,019	12.0	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	583,591	13.0	11.8	11.2
減価償却費	574,751	12.8	8.7	8.6
経費	1,070,919	23.8	22.1	21.3
(うち委託料)	590,525	13.1	11.7	11.6
研究研修費	16,261			
資産減耗費	43,437			
(2) 医業外費用	306,008			
(うち支払利息)	77,358	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	39,543			
損益	463,930			
純損益	437,251			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.8		103.3	104.8
医業収支比率	79.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	78.3		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	13.3		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	93.4		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	822,107	857,144
資本勘定繰入	386,640	423,418
計	1,208,747	1,280,562

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	富江病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,092 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	97.0	95.9	97.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	97.0	95.9	97.3
平均在院日数(一般病床のみ)		32.8	32.7	34.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	906,782			
1 経常収益	906,715			
(1) 医業収益	728,057			
(うち修正医業収益)	705,866			
入院収益	501,330			
外来収益	160,375			
診療収入計	661,705			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	66,352			
(うち他会計負担金)	22,191			
(2) 医業外収益	178,658			
(うち国・都道府県補助金)	18,267			
(うち他会計補助・負担金)	126,811			
(うち長期前受金戻入)	26,620			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	67			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	751,314			
2 経常費用	751,080			
(1) 医業費用	727,596			
職員給与費	463,042	63.6	59.4	76.5
材料費	109,092	15.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	39,357	5.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,860	7.8	11.8	6.4
減価償却費	52,121	7.2	8.7	11.5
経費	101,179	13.9	22.1	32.6
(うち委託料)	36,946	5.1	11.7	14.8
研究研修費	1,338			
資産減耗費	824			
(2) 医業外費用	23,484			
(うち支払利息)	56	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	234			
損益	155,635			
純損益	155,468			
累積欠損金	-			
経常収支比率	120.7		103.3	101.5
医業収支比率	100.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	97.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	16.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	100.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,100	149,002
資本勘定繰入	7,000	7,076
計	147,100	156,078

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	上五島病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	13,954 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	132	52.9	76.7	76.8
療養	50	86.1	82.5	79.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	60.7	76.6	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	18.4	18.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,555,250			
1 経常収益	4,545,528			
(1) 医業収益	3,713,355			
(うち修正医業収益)	3,660,063			
入院収益	1,790,667			
外来収益	1,561,097			
診療収入計	3,351,764			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	361,591			
(うち他会計負担金)	53,292			
(2) 医業外収益	832,173			
(うち国・都道府県補助金)	227,696			
(うち他会計補助・負担金)	392,613			
(うち長期前受金戻入)	141,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,722			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,567,169			
2 経常費用	4,551,932			
(1) 医業費用	4,339,744			
職員給与費	2,514,253	67.7	59.4	67.0
材料費	806,978	21.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	360,907	9.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	411,572	11.1	11.8	9.4
減価償却費	347,050	9.3	8.7	10.2
経費	610,145	16.4	22.1	28.8
(うち委託料)	149,676	4.0	11.7	13.2
研究研修費	24,889			
資産減耗費	36,429			
(2) 医業外費用	212,188			
(うち支払利息)	1,014	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	15,237			
損益	経常損益	-6,404		
	純損益	-11,919		
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		103.3	104.5
医業収支比率	85.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	84.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.1		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	409,171	445,905
資本勘定繰入	51,809	56,851
計	460,980	502,756

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団				
病院名	上対馬病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	63.4	58.3	53.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	63.4	58.3	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.6	22.2	20.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,131,452			
1 経常収益	1,130,462			
(1) 医業収益	791,684			
(うち修正医業収益)	767,575			
入院収益	417,473			
外来収益	273,821			
診療収入計	691,294			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	100,390			
(うち他会計負担金)	24,109			
(2) 医業外収益	338,778			
(うち国・都道府県補助金)	80,056			
(うち他会計補助・負担金)	188,248			
(うち長期前受金戻入)	51,292			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	990			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,068,685			
2 経常費用	1,068,101			
(1) 医業費用	1,019,629			
職員給与費	632,895	79.9	59.4	76.5
材料費	126,199	15.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	48,483	6.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,397	8.5	11.8	6.4
減価償却費	82,558	10.4	8.7	11.5
経費	174,384	22.0	22.1	32.6
(うち委託料)	51,479	6.5	11.7	14.8
研究研修費	1,984			
資産減耗費	1,609			
(2) 医業外費用	48,472			
(うち支払利息)	2,890	0.4	1.0	1.3
(3) 特別損失	584			
損益	62,361			
純損益	62,767			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.8		103.3	101.5
医業収支比率	77.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	75.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	26.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	86.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	206,860	212,357
資本勘定繰入	30,128	30,130
計	236,988	242,487

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	精神医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,161 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	臨感
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	139	82.8	79.2	79.7
感染症	-	-	-	-
計	139	82.8	79.2	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,090,475			
1 経常収益	2,090,113			
(1) 医業収益	1,561,316			
(うち修正医業収益)	1,518,456			
入院収益	1,257,773			
外来収益	209,148			
診療収入計	1,466,921			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	94,395			
(うち他会計負担金)	42,860			
(2) 医業外収益	528,797			
(うち国・都道府県補助金)	53,187			
(うち他会計補助・負担金)	398,310			
(うち長期前受金戻入)	69,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	362			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,903,569			
2 経常費用	1,878,404			
(1) 医業費用	1,833,301			
職員給与費	1,254,575	80.4	59.4	105.1
材料費	143,024	9.2	26.1	9.8
(うち薬品費)	121,121	7.8	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,957	1.3	11.8	1.6
減価償却費	138,559	8.9	8.7	12.8
経費	290,865	18.6	22.1	35.3
(うち委託料)	159,042	10.2	11.7	17.0
研究研修費	4,682			
資産減耗費	1,596			
(2) 医業外費用	45,103			
(うち支払利息)	1,867	0.1	1.0	2.4
(3) 特別損失	25,165			
損益	211,709			
純損益	186,906			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.3		103.3	101.8
医業収支比率	85.2		85.5	61.1
修正医業収支比率	82.8		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	28.3		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	21.1		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	87.8		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	428,900	441,170
資本勘定繰入	34,636	34,641
計	463,536	475,811

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 長崎県	
市町村・組合名	長崎県病院企業団		
病院名	島原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	21,842 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	250	65.1	68.0	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	254	64.0	66.9	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.3	14.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,791,091			
1 経常収益	6,727,878			
(1) 医業収益	5,079,316			
(うち修正医業収益)	4,990,096			
入院収益	3,542,514			
外来収益	1,378,038			
診療収入計	4,920,552			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	158,764			
(うち他会計負担金)	89,220			
(2) 医業外収益	1,648,562			
(うち国・都道府県補助金)	884,429			
(うち他会計補助・負担金)	371,657			
(うち長期前受金戻入)	377,175			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,213			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,162,458			
2 経常費用	6,140,205			
(1) 医業費用	5,843,816			
職員給与費	2,984,192	58.8	59.4	63.7
材料費	1,287,269	25.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	794,839	15.6	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	491,388	9.7	11.8	10.1
減価償却費	522,386	10.3	8.7	9.7
経費	1,024,468	20.2	22.1	28.9
(うち委託料)	496,258	9.8	11.7	13.6
研究研修費	13,789			
資産減耗費	11,712			
(2) 医業外費用	296,389			
(うち支払利息)	72,708	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	22,253			
損益	587,673			
純損益	628,633			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.6		103.3	101.8
医業収支比率	86.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	85.4		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	102.1		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	430,839	460,877
資本勘定繰入	411,313	508,986
計	842,152	969,863

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		吉岐病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,290 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	78.9	79.3	85.7
療養	48	73.3	86.9	87.6
結核	6	1.0	5.5	6.6
精神	50	-	-	-
感染症	4	127.1	37.6	23.8
計	228	59.2	60.8	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.3	21.5	23.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,240,513			
1 経常収益	4,191,052			
(1) 医業収益	3,295,666			
(うち修正医業収益)	3,223,065			
入院収益	1,959,469			
外来収益	1,083,931			
診療収入計	3,043,400			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	252,266			
(うち他会計負担金)	72,601			
(2) 医業外収益	895,386			
(うち国・都道府県補助金)	403,949			
(うち他会計補助・負担金)	379,544			
(うち長期前受金戻入)	93,336			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,461			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,941,929			
2 経常費用	3,878,237			
(1) 医業費用	3,696,295			
職員給与費	1,873,856	56.9	59.4	63.7
材料費	765,841	23.2	26.1	21.0
(うち薬品費)	359,009	10.9	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	374,010	11.3	11.8	10.1
減価償却費	181,066	5.5	8.7	9.7
経費	860,083	26.1	22.1	28.9
(うち委託料)	310,110	9.4	11.7	13.6
研究研修費	10,530			
資産減耗費	4,919			
(2) 医業外費用	181,942			
(うち支払利息)	42,134	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	63,692			
損益	312,815			
純損益	298,584			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.1		103.3	101.8
医業収支比率	89.2		85.5	80.8
修正医業収支比率	87.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.7		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	10.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	96.4		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	422,625	452,145
資本勘定繰入	95,281	136,198
計	517,906	588,343

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長崎県	
市町村・組合名		長崎県病院企業団			
病院名		対馬病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,812 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	222	67.1	72.4	77.8
療養	-	-	-	-
結核	4	-	14.3	3.5
精神	45	72.4	70.5	69.8
感染症	4	182.1	21.2	11.0
計	275	68.7	70.5	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.4	17.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,067,026			
1 経常収益	6,991,401			
(1) 医業収益	5,051,006			
(うち修正医業収益)	4,943,370			
入院収益	2,898,655			
外来収益	1,648,678			
診療収入計	4,547,333			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	503,673			
(うち他会計負担金)	107,636			
(2) 医業外収益	1,940,395			
(うち国・都道府県補助金)	958,145			
(うち他会計補助・負担金)	686,335			
(うち長期前受金戻入)	228,670			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75,625			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,305,264			
2 経常費用	6,281,118			
(1) 医業費用	5,969,954			
職員給与費	3,332,425	66.0	59.4	63.7
材料費	1,139,886	22.6	26.1	21.0
(うち薬品費)	553,039	10.9	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	537,569	10.6	11.8	10.1
減価償却費	562,898	11.1	8.7	9.7
経費	871,379	17.3	22.1	28.9
(うち委託料)	368,569	7.3	11.7	13.6
研究研修費	14,372			
資産減耗費	48,994			
(2) 医業外費用	311,164			
(うち支払利息)	38,973	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	24,146			
損益	710,283			
純損益	761,762			
累積欠損金	469,757			
経常収支比率	111.3		103.3	101.8
医業収支比率	84.6		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	11.2		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	98.7		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	63,570,915
1 固定資産	39,777,898
(1) 有形固定資産	32,475,662
(2) 無形固定資産	321,347
(3) 投資その他の資産	6,980,889
2 流動資産	23,793,017
(1) 現金及び預金	17,576,388
(2) 未収金及び未収収益	5,971,111
(3) 貸倒引当金()	89,272
(4) 貯蔵品	330,310
3 繰延資産	-
負債合計	35,983,889
1 固定負債	20,500,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,468,643
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	123,473
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,875,048
(7) 一ス債務	1,251
2 流動負債	6,584,638
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,239,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	37,953
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	903,697
(6) リ一ス債務	866
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,091,598
(9) 前受金及び前受収益	7,995
3 繰延収益	8,899,220
(1) 長期前受金	12,806,178
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,906,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	27,587,026
1 資本金	10,126,163
2 剰余金	17,460,863
(1) 資本金剰余金	5,433,515
(2) 利益剰余金	12,027,348
負債・資本合計	63,570,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	760,674	793,971
資本勘定繰入	170,095	216,963
計	930,769	1,010,934

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。